

平成28年度「木下の森」活動報告

平成28年度活動実績 植林面積合 30ha 植林本数 600本

通算実績 植林面積合計 303ha 植林総本数 63,374本

植林作業

- 平成28年7月25日～8月1日 ● 林班403にて1ha（200本）の植林を実施。
エンカバン・ジャントン100本、カポール・ブキットの苗木を100本植林。
森林局からの監督者1名とトン・ニボン村からの作業員15名体制で作業を実施した。
- 平成28年8月25日～9月3日 ● 林班402にて1ha（200本）の植林を実施。
エンカバン・ジャントン100本、カポール・ブキットの苗木を100本植林。
森林局からの監督者1名とトン・ニボン村からの作業員15名体制で作業を実施した。
9月3日以降～11月初旬までは、陸稲の植え付けなど、村の畑作業の繁忙期のため、メンテナンス作業等を一次休止。
- 平成29年3月15日～25日 ● 林班402にて1ha（200本）の植林を実施。カポール・ブキットの苗木を植林。

メンテナンス作業

- 平成28年5月9日～18日 ● メンテナンスと枯損木の植え替え作業を実施。
森林局からの監督者1名とトン・ニボン村からの作業員12名体制で作業を実施した。
- 平成28年7月15日～24日 ● メンテナンス作業を実施。
森林局からの監督者1名とトン・ニボン村からの作業員15名体制で作業を実施した。
- 平成28年12月 ● メンテナンスと枯損木の植え替え作業を実施。
- 平成29年1月～3月 ● メンテナンス作業を予定。

林道補修

- 苗木の運搬と作業員の通行のため、必要に応じて砂利を敷くなどの整備を行った。

苗畑管理

- 毎月10日間程度、トン・ニボン村からの植林作業員リーダーが、アペン保護林内に設営した苗畑の管理を行った。

その他

①成長データ測定、分析

- マレーシア・サラワク大学の協力により、植林活動地内の特定の区画にて、2007年4月のスタート地点、2008年、2010年、2012年に植林したエリアの一部を定点測定地点として、植栽木の樹高と胸高直径を計測した。

②地域の子供達が参加する共同植林作業の実施

- 平成28年9月3日(土)に、アペン保護林周辺地域の小学校教員、中高生、大学生、大学教員、村人ら50名が参加し、日本からの参加者10名と共に植林作業を行った。

③日本大学生が植林作業体験

- 平成29年3月20日(月)に、日本大学生6名がアペン保護林を訪れ、地域住民と共に植林作業体験を行った。

④サラワク州森林局主催「森林フォーラム」で活動発表

- 平成29年3月7日(火)～10日(金)にサラワク州クチンで行われた「森林フォーラム」に招待され、本協会が行う「木下の森」植林活動などについて、活動発表を行った。

⑤アペン保護林の国立公園（永久保護区）への昇格

- サラワク州森林局にて、一昨年より、アペン保護林を国立公園（永久保護区）へと昇格させる手続きがなされていたが、昨年末、州政府の承認を経て昇格が確定し、本年3月に官報の写しを受領した。

これは、マレーシア及びサラワク州政府が、御社のご支援による植林活動を高く評価し、感謝していることの表れであり、本協会では「木下の森」が、地域の人々だけでなく、世界的に貴重な熱帯雨林再生地となるよう、現地政府並びに地域住民と協力し、森づくりを継続していく所存である。